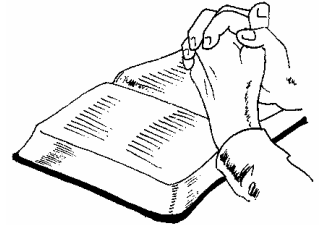


ディボーション質問表



18日(日)先週一週間のディボーションをふり返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かせたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。

19日(月)列王記第二 9章11～29節

1. エフーは預言に基づいて行動し始めます。そしてイスラエルの王ヨラムとユダの王アハズヤを殺害しました。彼の行動から何を学びますか。
2. これは現代で言うクーデターです。王制のもとではこのような政権交代ということが普通でした。しかし、この王制はイスラエル人が自ら望んで(1サムエル8:5～6)手に入れたものでした。人に権力を集中する時には同じような事件が起きるようです。私たちは個人レベルでこのような心の政権交代を行っているのでしょうか。いつまでも肉を王として、屈服していることはないのでしょうか。
3. このエフーのヨラム襲撃の勢いを見て、何を感じますか。

20日(火)列王記第二 9章30～37節

1. イゼベルはエリヤの預言通りの死を迎えます。イゼベルのした悪はさまざまでしたがあなたは特に何を思い出しますか。また自分の中にイゼベル的な部分はないのでしょうか。
2. 36、37節の預言以降、すくなくとも14年以上は経っていました。このように約束の言葉がかなりの年月を経て成就した経験はありますか。また今待っている事柄があれば、もう一度神の前に出してみましよう。

21日(水)列王記第二 10章1～17節

1. エフーによるアハブの身内に対する粛正はさらに続きます。神に対して罪を犯したアハブの呪いは律法に従ってその子孫にまでおよび、70人の子供達は殺されます。またアハブの親族や祭司達も同様でした。ここには徹底的に神の指示を実行するエフーの姿勢が見られますが、このときは律法の時代だったということもあり、裁きが中心でした。今は恵みの時代であることをふまえて、あなたが徹底的に従うべき神の命令は何だと思えますか。
2. エフーはまた、途中ユダの王アハズヤの身内にも手を伸ばし、その42人を殺害します。

22日(木)列王記第二 10章18～36節

1. エフーはバアルの預言者をだまし討ちにします。そしてバアル信仰をイスラエルのうちから根絶やしにしました。このことからあなたは何を学びますか。
2. 29節でエフー自身が完璧に神に従っていたわけではないことが分かります。神はこのような人をも用いることがあります。あなたは自分が完璧でないからという理由で神に近づくことを遠慮してはいませんか。

23日(金)列王記第二 11章

1. アハズヤの母アタルヤが他の王族を殺害し、女王として6年間君臨します。しかしこのことは神のところにかなわず、祭司エホヤダによって彼女は討たれました。アタルヤの問題点は何だったと、あなたは思いますか。
2. 18節には、本来イスラエル王国にあって、そちらではエフーによって完全破壊されたはずのバアルの偶像が、神に従っていたはずのユダ王国に取り入れられていたことが分かります。知らないうちに自分の生活に入り込んでいる偶像的なものが何かないでしょうか。

24日(土)列王記第二 12章

1. ヨアシュは、祭司エホヤダとともに神に従っていました。彼の信仰で、優れた部分は何だったと思えますか。彼にはどんな賜物があったのでしょうか。あなたの周りにいる人たちの賜物を覚え、感謝しましょう。
2. 基本的には神に従っていたにもかかわらず、ヨアシュは暗殺されました。何が原因だったと思えますか。また、どうすれば彼はこのような死を回避できたと思えますか。